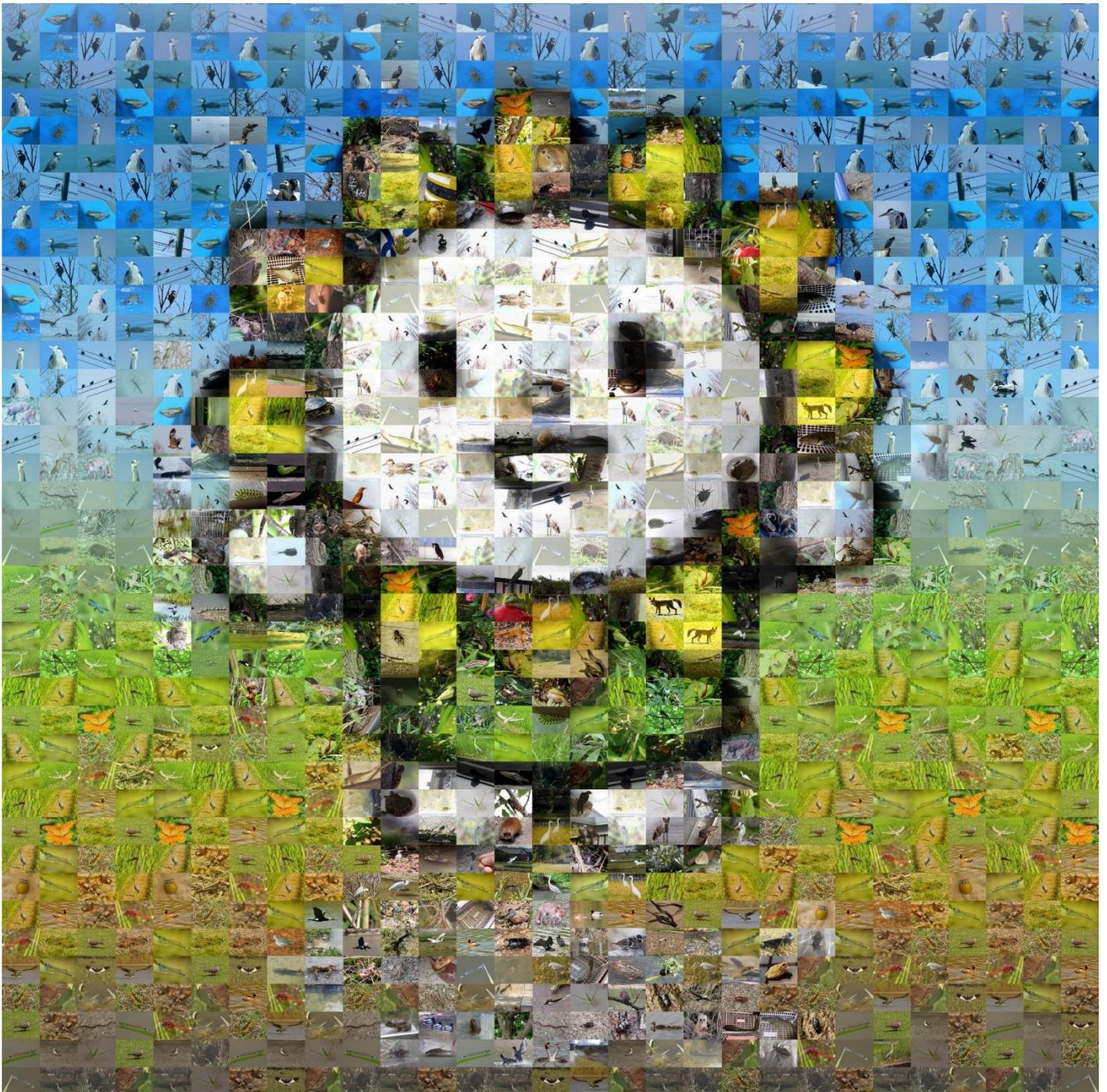


市制 50 周年記念



野生生物再発見事業

本事業は、尾張旭市に生息する野鳥・昆虫・水生生物・小動物の写真募集や、観察会の開催を通じて、市民の皆さんが本市の豊かな自然を感じるとともに郷土への愛着を深めていただくこと、また、本市における野生生物の情報の蓄積を図ることを目的として実施しました。この冊子では、皆さんから御応募いただいた写真の一部を紹介させていただくとともに、観察会の様子を掲載しています。



このモザイクアートは、皆さんから御応募いただいた野生生物の写真を使用しています

※必要に応じて写真の色合いの調整や切り抜きなどを行っています

写真募集「みんなで集めよう 尾張旭市の野生生物 50種」

令和2年4月から令和3年9月まで、尾張旭市内に生息している野生生物の写真を市内外の皆さんに募集したところ、50種を超える約100種の写真を応募していただきました。

こちらで紹介している野生生物は、応募写真のごく一部です。市公式ホームページでは、全ての応募写真を掲載していますので、ぜひご覧ください。



市公式ホームページ



①カルガモ ②新居町 ③令和3年5月 ④クチバシの先が黄色く、一年中会える水鳥。春先に親子で水辺に移動する。



①ミサゴ ②新居町 ③令和3年3月 ④タカの仲間。腹が白く、魚が大好物。一年を通して日本にいる留鳥。



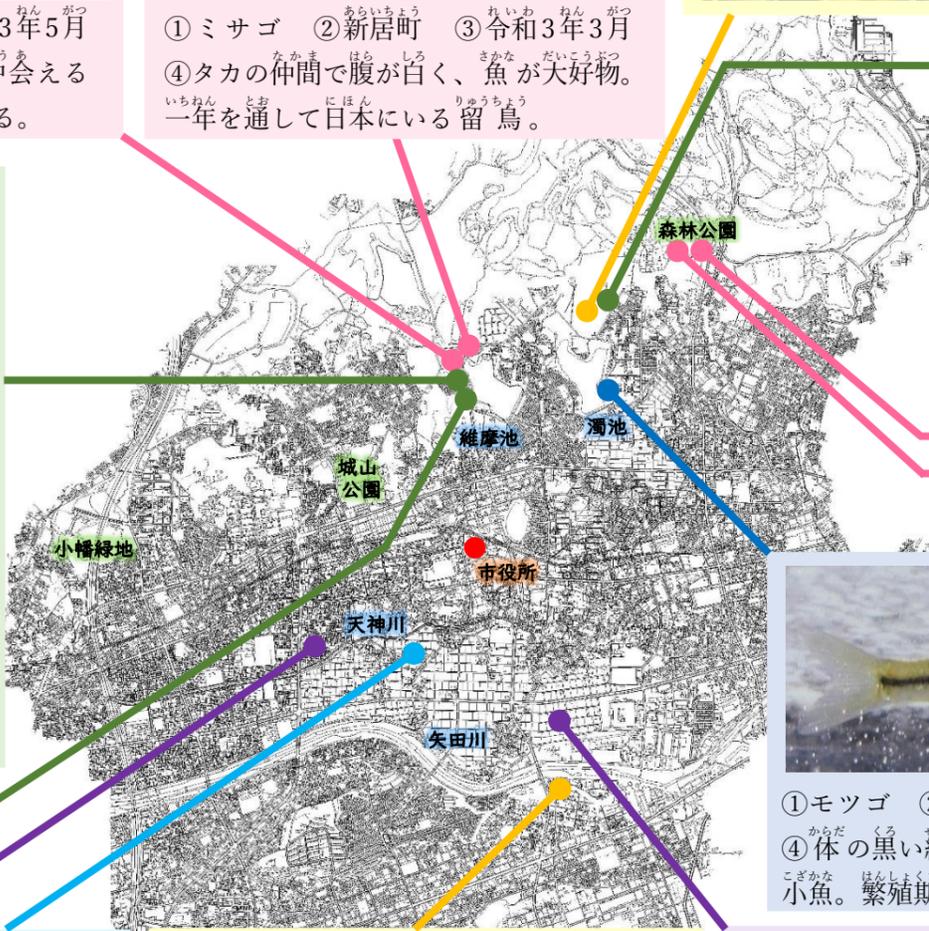
①ニホンリス ②旭ヶ丘町 ③令和3年3月 ④松ぼっくりを食べ、食べ終えたものはエビフライ形になる。愛知県では準絶滅危惧種。



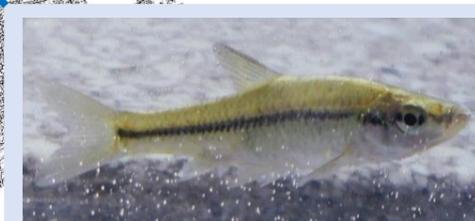
①タマムシ ②旭ヶ丘町 ③令和3年8月 ④虹色に光り、森の宝石として昔から愛されてきた。



①チョウトンボ ②新居町 ③令和2年7月 ④青く輝くはねが美しく、水辺の宝石と呼ばれる。水面上に葉を浮かべる植物がある池などを好む。



①カブトムシ ②新居町 ③令和2年7月 ④梅雨明け頃から樹液にたくさん集まるようになる。北海道では外来種。



①モツゴ ②旭ヶ丘町 ③令和3年8月 ④体の黒い線が目印で、体長6cm程度の小魚。繁殖期には体色が変化する。



①アオサギ ②大字新居 ③令和2年3月 ④日本のサギ科の中で最大。カエルや小魚などを好み、田んぼや水辺でよく見られる。



①ニホンアマガエル ②東印場町 ③令和3年9月 ④吸盤があり、樹上でも生活する。体の色を周囲の環境に合わせて変える。



①カブトエビ ②西の野町 ③令和3年6月 ④2億年前から姿を変えず、「生きた化石」と呼ばれる。6~7月の田んぼで見られる。



①イタチ ②上の山町 ③令和2年1月 ④胴長短足で、丸い頭に大きな目が特徴的。尾の長さが体の半分以下ならホンダイタチ。



①ナゴヤダルマガエル ②稲葉町 ③令和3年9月 ④愛知県では絶滅危惧II類の日本固有種。長野県から岡山県にかけてのみ生息する。



①カワセミ ②大字新居 ③令和3年1月 ④水辺の宝石と呼ばれる青い鳥。ホバリングして魚を見つける魚取りの名人。

かんさつ かい れっつ きやっち い もの 観察会「Let's catch 生き物たち」

しょうがくせい ほごしゃ みな たいしょう い もの せいたいけい
小学生と保護者の皆さんを対象に、生き物たちの生態系

まな おわりあさひしな い せいそく やせいせいぶつ かんさつ おこな
を学び、尾張旭市内に生息している野生生物の観察を 行い

ました。また、身近にあるペットボトルを利用した虫かご作りにも

ちょうせん
挑戦しました。

●日時: 令和3年8月7日 午前10時~11時30分

●場所: 中央公民館

●講師: 1級ビオトープ計画管理士 長谷川明子さん



講義の様子



みずべ い もの かんさつ
水辺の生き物を観察



こんちゆう かんさつ
昆虫を観察



ペットボトルで虫かご作り



タイムカプセルに手紙と思い出の品を収めました



集合影真

さんか みな こえ 参加した皆さんからの声

●ナマズやスッポンを初めて見た。

●図鑑でしか見たことのない生き物を
見ることができて、とても楽しかった。

●尾張旭市内にも、意外とたくさん生き
物があるんだと思った。



編集後記

身近にいる野生生物にフォーカスを当て、尾張旭市を愛してもらいたいと考え進めたこの事業。皆さまのおかげで、予想を超える種の野生生物を再発見することができました。これは、本市の魅力の再発見であったとともに皆さまの本市への愛情のひとつでもあると感じます。人も野生生物も住みよいまちを目標にまちづくりを進めていきたいと思ひます。

末尾になりますが、本事業に御協力いただきました皆さまに心から感謝申し上げます。